

入門編

2021(R3)年度よりそい専門研修会
受講ご案内(オンライン研修)

一般社団法人
よりそいネット
おおさか

F o r e n s i c S o c i a l w o r k

刑事司法と対人援助を学ぶ

「よりそい専門研修会」は、“司法と福祉の架け橋を目指して！”のスローガンを掲げ、矯正施設退所者等の支援に係る方々のご参加を得て、2016年度から6年目となりました。昨年度からはコロナ感染症流行の下、オンライン研修での開催となっています。

“本研修会は、司法や福祉、医療、教育、行政関係者など、罪を犯してしまった人の支援に関わる（可能性のある）方々を対象に、「学び」の機会、相互の連携・協力づくりの機会を提供します。優れた講師陣による系統だったカリキュラムで、本年度は新たに「刑務所の中の医療とケア」を追加し、刑事司法の基本から対人援助の技法まで、横断的に学べるようプログラムいたしました。各講義の内容は、毎回アップデートしており、昨年学んだ方でも再び受講していただけるよう工夫しております。オンライン研修のメリット生かし、多くの方々の受講をお願い申し上げます

YouTube 配信:「総論」「基本編」「実践編」

2022年1月11日(火) 9:00

～2月28日(月) 21:00

- ✓ 配信期間、講義内容、お申込み方法は次ページ以降をご覧ください。
- ✓ 各講義 1000 円、複数受講の割引、よりそい会員割引※もあります。
- ✓ 「振り返りレポート」の提出日は令和4年2月28日(月)が締切です。

申込期間

2021 年
12/16(木)



2022 年
2/14(月)

<https://peatix.com/event/3110055/view>



ライブ配信日:「理論から実践へ～実践に照らして講義を振り返る」

2022年3月11日(金)13:00～15:00

- ✓ 総論、基本編、実践編のうち4講義以上を視聴し、「振り返りレポート」提出者に限ります。
- ✓ 80名までの限定ライブ講義(無料)となります。

会員加盟のお願い

一般社団法人よりそいネットおおさは、刑務所等の矯正施設を退所した人たちの支援や、支援者との関係づくりに取り組み、ネットワーク型の福祉構築をめざした活動を行っています。当団体の趣旨・目的にご賛同の法人・個人の方々には会員加盟をいただき、共に協働の輪を拡げていくことを願っています。お気軽に事務局までお問い合わせください。

法人会員(一口)10,000 円 個人会員(一口)2,000 円

お問い合わせ <http://yorisoi-osaka.jp/>
(TEL) 06-6711-0130



セミナーや専門的な研修、ネットワーク会議、など盛りだくさんの企画が会員価格で参加できます！



主催) 一般社団法人よりそいネットおおさか (大阪府地域生活定着支援センター受託団体)

共催) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 公益財団法人 日本社会福祉士会 法務省 大阪保護観察所

【配信期間チャートと料金について】

セッション	プログラム	料金		1/11 ～	1/18 ～	1/25 ～	2/14 ～	2/28	3/11
	受講ガイダンス	-	-						
第1 総論	講義-1(中村)	無料	講義1～ 講義9 全受講 7,000円 ★会員価格 5,000円	1/11～2/28					
第2 基本編	講義-2(金澤)	各1,000円							
	講義-3(安田)	講義2～5セット で3,500円			1/18～2/28				
	講義-4(森久)	★会員価格							
	講義-5(西原)	講義2～5セット で3,000円							
第3 実践編	講義-6(船山)	各1,000円							
	講義-7(大岡)	講義6～9セット で3,500円					1/25～2/28		
	講義-8(丹羽)	★会員価格							
	講義-9(水藤)	講義6～9セット で3,000円							
第4 総括	講義総括 (対談)	無料 ※基本編、実践編のうち4講義以上受講し、振り返りレポートを提出された方							ライブ 配信

【受講申込方法】



下記 URL もしくは右の QR コードよりお申込みいただけます。

<https://peatix.com/event/3110055/view>

(申込締切：2022年2月14日(月))



- ✓ お申込み、お支払いを完了している方には、配信開始2日前をメドに受講（視聴）URL 及び配布資料（PDF）URL をお申込み時メールアドレス宛にメールにてご送付します。お申込み時のメールアドレスは、お間違えの無い様にご記入ください。
- ✓ 料金体系につきましては、上記の配信期間チャートをご覧ください。
- ✓ 第4セッションの講義総括（無料）は、基本編、実践編のうち4講義以上を受講（視聴）し、「振り返りレポート」提出者に限り、人数限定（提出順80人）で、ご参加（視聴）できます。
- ✓ お申込みの方で、期日までに受講料の納付が確認できない場合、受講（視聴）できませんので、ご注意ください。
- ✓ 受講（視聴）後に「振り返りレポート」（レポート様式 URL は受講（視聴）URL ご送付時にご案内）のご提出をお願いします。振り返りレポート提出者には、後日、「受講証明書」を発行し、講義-1～9のすべての振り返りレポート提出者には「修了証書」を発行します。
- ✓ 受講（視聴）に係る URL 等は、ご本人のみの利用で、他人への提供や貸与等は厳禁とします。
- ✓ 受講（視聴）お申込みに係りご提供いただいた個人情報は本研修会の目的以外で使用することはありません。

【お問い合わせ先】

一般社団法人よりそいネットおおさか（大阪府地域生活定着支援センター受託団体）

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15 大阪府社会福祉会館2階

(TEL) 06-6711-0130 (FAX) 06-6762-8645

(ホームページ) <http://yorisoi-osaka.jp/>



【プログラム内容】

<第1session 総論> 配信期間：2022年1月11日(火)～2月28日(月)

●受講ガイダンス 「よりそい専門研修会とは…」

山田 真紀子（大阪府地域生活定着支援センター所長・よりそいネットおおさか事務局）

●講義-1 「犯罪と社会」

中村 正 先生（立命館大学大学院人間科学研究科教授）



ねらい) 罪を犯した人々のこれからの人生に寄り添うことの意義について掘り下げていきます。司法に関わる支援の「奥行きと広がり」を社会病理学・臨床社会学から理解します
講師プロフィール) 立命館大学大学院人間科学研究科教授。立命館大学法学部卒業後、大学院で社会学（社会病理学）を専攻し、現在は、臨床心理や対人援助に関する専門職を養成する大学院で教える。暴力と虐待、主に加害についての臨床を行いながら研究し、現場は、少年刑務所での性犯罪者処遇、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、男性問題相談にかかわる民間団体でのDV加害男性向けグループワークなどを実践。NPO法人では本邦初の京都コミュニティ放送（FMラジオ局）の実現にも携わり、3年程パーソナリティを務めた。きょうとNPOセンター理事長もつとめる。

<第2session 基本編> 配信期間：2022年1月18日(火)～2月28日(月)

●講義-2 「犯罪と刑罰～施設拘禁刑を中心に～」

金澤 真理 先生（大阪市立大学大学院法学研究科教授）



ねらい) 犯罪と刑罰との関係について考察を及ぼしながら、有罪の実刑判決を受けた当事者が実際に刑事施設で刑罰を受けるのはどのような場合か、拘禁刑の意義は何かを学ぶ。
講師プロフィール) 東北大学法学部卒業、同大大学院法学研究科博士後期課程修了。山形大学での勤務を経て2010年より大阪市立大学法学部教授。2003年から2004年にかけてドイツ・フライブルク大学刑法法理論研究所客員研究員。〈研究〉刑事法、特に未遂論・中止未遂論、社会内処遇論を主として研究。〈著書〉『中止未遂の本質』（成文堂、2006年）、金澤真理、安田恵美、高橋康史編『再犯防止から社会参加へーヴァルネラビリティから捉える高齢者犯罪』（2021年、日本評論社）。

●講義-3 「刑事手続きの流れと被疑者被告人の権利」

安田 恵美 先生（國學院大学法学部准教授）



ねらい) 刑事手続きの仕組みや流れ、被疑者・被告人の権利保障について理解したうえで、「入口（段階での）支援」の意義について学ぶ。

講師プロフィール) 國學院大学法学部准教授。國學院大学法学部で刑事政策や犯罪学の講義を担当している。高齢犯罪者を対象として、彼ら・彼女らが犯罪をするに至った背景にある「傷つきやすさ vulnerability」ゆえの「社会的排除」に注目しながら、彼ら・彼女らが行った犯罪、彼ら・彼女らに科される刑罰、そして、釈放後の「暮らし」について日仏の議論状況や法制度等を比較しながら、研究を行っている。主な著作として、『高齢犯罪者の社会復帰と権利保障』（2017、法律文化社）、金澤真理、安田恵美、高橋康史編『再犯防止から社会参加へーヴァルネラビリティから捉える高齢者犯罪』（2021年、日本評論社）がある。

●講義-4 「少年法って何のためにあるの？」

森久 智江 先生（立命館大学法学部教授）



ねらい) 主に、少年が事件を起こした際の審判の流れや保護処分等について知り、少年司法の役割について学ぶ。

講師プロフィール) 立命館大学法学部教授。犯罪学、少年法、刑事訴訟法を専門としている。(略歴)九州大学法学研究院助教、立命館大学法学部准教授を経て、2017年より現職。犯罪をした人の社会復帰と犯罪現象に向き合う社会のあり方について、Restorative Justiceの観点から研究。近年は主に犯罪をした障がいのある人への対応に重点をおいて研究続けている。(著書)主な共著として、『司法と福祉の連携』（現代人文社、2018）、『司法の期待に福祉はどう応えるのか～福祉の自立性と司法との連携～』（2016年、独立行政法人国立重度知的障害者施設のぞみの園）など。

●講義-5 「社会内処遇の流れと実際」

西原 実 先生（大阪保護観察所 保護観察官）



ねらい) 主に保護観察の状況や更生保護の沿革、内容について学ぶ。

講師プロフィール) 大阪保護観察所 保護観察官。(略歴)平成元年 法務省 京都保護観察所に採用。以後、奈良、大阪堺支部、大阪、和歌山、神戸保護観察所など近畿管内の保護観察所を転々として勤務し、現在に至る。福祉のケアを必要とするケースの対応に疑問を持ち、国立のぞみの園が実施する双方向研修に講師として参加している。

<第3session 実践編> 配信期間：2022年1月25日(火)～2月28日(月)

●講義-6 「刑務所の中の医療とケア」

船山 健二 先生(新潟県立看護大学地域生活看護学領域 精神看護学 講師)



ねらい) 塀の内と外における、医療の共通点と相違点、そして医療の継続性をケアの視点から考える。

講師プロフィール) 看護師・日本版性暴力対応看護師(SANE-J)。15年間の看護実践(大学病院:5年、刑務所:7年半など)を経て現職。精神保健看護学(薬物依存症、知的障害)、司法看護(受刑者、触法障がい者)の教育・研究を行っている。主な共著:『よくわかるヘルスコミュニケーション』(ミネルヴァ書房、2016)、『看護学テキスト NiCE 看護倫理改訂第3版』(南江堂、2021)、『再犯防止から社会参加へーヴァルネラビリティから捉える高齢者犯罪』(日本評論社、2021)など。

●講義-7 「トラウマインフォームドケア(TIC)の視点から考える支援」

大岡 由佳 先生(武庫川女子大学文学部准教授)



ねらい) 対象者の背景には過去のトラウマがあり、今なおその影響を引きずっていることが往々にしてあります。トラウマインフォームドケアの観点から、対象者の理解に努めます。

講師プロフィール) 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授。精神保健福祉士・社会福祉士。(略歴)関西大学社会学部卒業後、久留米大学大学院博士課程修了し、2008年に博士(保健福祉学)取得。帝塚山大学心理福祉学の助手・講師を務めたのち、2010年より武庫川女子大学に着任。(著書)著書・訳書等に「犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド」(2016年 金剛出版 監訳)、「こころの健康シリーズVI 格差社会とメンタルヘルス…犯罪被害者とメンタルヘルス」(2014年 日本精神衛生会)など多数。各種委員や講演なども行う。

●講義-8 「思春期・青年期の子どもたちと虐待 ～子どもシェルター・自立援助ホームの取組から～」

丹羽 有紀 先生(弁護士)



ねらい) 少年非行の一つの背景となっている虐待の問題について、思春期・青年期の子どもたちに虐待が及ぼす影響と子どもたちへの支援の現状を学びます。

講師プロフィール) 弁護士・NPO 法人子どもセンターめくく運営委員。1996年司法試験合格。1998年家庭裁判所調査官補採用。家庭裁判所調査官、主任家庭裁判所調査官を経て2017年3月家庭裁判所を退職。2018年3月弁護士登録(大阪弁護士会)。

●講義-9 「犯罪行為者への福祉による支援:役割と課題」

水藤 昌彦 先生(山口県立大学社会福祉学部教授)



ねらい) これまでの講義の内容を踏まえながら、非行や犯罪をした人への福祉による支援の役割や意義、留意点などについて考えます。

講師プロフィール) 山口県立大学社会福祉学部教授。専門は司法福祉、フォレンジック・ソーシャルワーク、刑事政策。(略歴)2001年からピクトリア州政府ヒューマン・サービス省にて、障害のある犯罪行為者への対応などに関わる。2008年より社会福祉法人北摂杉の子会勤務を経て、2011年山口県立大学社会福祉学部准教授。2017年より現職。独立行政法人国立のぞみの園参事を兼務。(著書)主な共編著書に『当事者と援助者の「共助する関係」—刑事司法領域における対人援助の基本』(現代人文社、2020年)、『「司法と福祉の連携」の展開と課題』(現代人文社、2018年)などがある。

<第4session 総括> ライブ配信 日時：2022年3月11日(金)13:00～15:00

●講義総括(対談) 「講義を振り返って…」



Zoomによるライブ配信です

中村 正 先生(立命館大学大学院人間科学研究科教授)

水藤 昌彦 先生(山口県立大学社会福祉学部教授)

金澤 真理 先生(大阪市立大学大学院法学研究科教授)

司会) 山田 真紀子(大阪府地域生活定着支援センター所長)

・よりそいネットおおさか事務局)

- ✓ 総論、基本編、実践編のうち4講義以上を視聴し、「振り返りレポート」提出者に限ります。
- ✓ 80名までの限定ライブ講義(無料)となります。